

1 日時 令和5年3月17日(金) 午後3時から午後4時30分まで

2 場所 徳島県立富岡西高等学校 創立百周年記念館

3 会次第

(1) 学校長 開会あいさつ

(2) 本校からの説明・協議

①本年度の取組について

- ・長瀬進路・情報課長が、令和4年度卒業生の進路実績について説明。
- ・高島SSH課長が、4年目となる本年度のSSH事業について説明。
- ・白草教務課長が主な学校行事について説明。
- ・春木事務課長が、校舎長寿化事業について説明。
- ・宮本千教頭が生徒指導上の課題や取り組みについて説明。

②令和5年度の学校運営方針について

新見校長が、令和5年度の学校運営方針について重点事項を中心に説明。

③令和5年度教育課程について

白草教務課長が、令和5年度の教育課程についての課題や今後の検討事項について説明。

④学校関係者評価について(意見や助言・評価)

- (ア) 進路実績やそれぞれの課の取組は高く評価できる。
- (イ) 学校評価総括評価表の評価の基準が分かりにくい。
- (ウ) 数値目標を達成できたかどうかで評価する方法もある。
- (エ) 各課の取組について羅列するのではなく、重点項目を決めて目標設定・評価すればよい。
→来年度は焦点化する方向で検討する。
- (オ) 入学してくる子どもたちが、富西での取組を理解し3年間過ごすことが出来れば、確かな成果が得られると思う。不登校の生徒に対する対応も大切である。
- (カ) 学校に対する評価は、進路実績や部活動の成果に目が向きがちだが、地域の立場で見ると、子どもたちが元気に学校へ行って、事故無く、生き生きと活動してくれることが一番である。
- (キ) 令和5年度に向けて、生徒主体で学校行事等に取り組んでいくという方針を挙げていたが、生徒たちが輝くうえで、とても大切なことであると考えている。応援していきたい。
- (ク) 不登校やいじめについては、教員と子どもたちの意識にズレが出るものである。よりきめ細かく子どもたちの意見を汲んで取り組んでいく必要がある。

(3) 閉会 学校長 お礼あいさつ